

2010年度会員総会開催 喜びと悲しみを分かち合う、共に生きる社会づくりへ向けて

5月23日(日)、2010年度熊本YMCA会員総会が開催され、会場である中央YMCAジェーンズホールに熊本YMCA会員139名が集いました。総会では、2009年度の活動を振り返るとともに、公益財団法人移行へ向けた会則改定などが承認されました。

野外教育部リーダーの石松良介さんと健康教育部リーダーの緒方大地さんによる総合司会で開会した2010年度会員総会。第一部礼拝では、熊本草葉町教会牧師の難波信義さんが、熊本YMCA 2010年度の基本聖句である「喜び人と共に喜び、泣く人と共に泣く」

きなさい」(ローマの信徒への手紙12章15節)をテーマに奨励されました(詳細は1面)。

続く第2部では、日本YMCA同盟ユースボランティアの認証を受けたリーダーを代表し、司会も務める緒方大地さんへ常議員会議長の佐藤典子さんから委嘱状が渡されました。その後、10年、20年、30年、40年にわたり、熊本YMCAの活動を支えていただいている会員の方々に「会員永年在籍表彰」の感謝状と記念品が授与されました。

第3部総会では、総主事の堤弘雄さんから、2009年度事業報告や、新たな3カ年の取り組みとして「共に生きる社会づくり3カ

域社会や世界の人々が互いに喜びや悲しみを共有できる、共に生きる社会」の創出に努めていくことが確認されました。この新3カ年計画は、YMCAの活動を支える各運営委員会の委員を中心に企画・立案され、会員運動として多くのボランティアの力を結集しながら実行されます。

また、2009年度決算報告及び監査報告、2010年度事業計画案・予算案の各議案についても審議され、いずれも承認されました。さらに、公益法人制度改革に伴い、公益財団法人への移行準備として会則改定の提案がなされ、熊本YMCA総体を代表する、これまでの「常議員会議長」に代わり「会長」を置くこと、常議員の任期が3年から4年に変更されることなどが議決されました。(選任された新常議員の紹介は3面)。

年計画」についてプレゼンテーションがありました。その中で、人が出会い、交わることを通して人間の回復を図り、地

域社会や世界の人々が互いに喜びや悲しみを共有できる、共に生きる社会」の創出に努めていくことが確認されました。この新3カ年計画は、YMCAの活動を支える各運営委員会の委員を中心に企画・立案され、会員運動として多くのボランティアの力を結集しながら実行されます。



共に生きる社会づくり3カ年計画 (2010年~2012年)方針

I. 「子どもたちの人格形成」

家庭や地域における子どもたちへの教育力を高めるために、特に保護者が子育てについて学び、成長できる機会を積極的に提供します。

II. 「支え合うコミュニティの創出」

YMCAが地域の中で人々が出会い絆を深める場と機会を提供することにより、コミュニティを強め、互いに支え合う共に生きる社会づくりに貢献します。

III. 「地球市民の育成」*

青少年を中心に、平和・環境保全・多文化共生の大切さを次の世代へ伝えるための必要な学びと体験の機会を提供し、地球市民を育てます。また、1Y1アジア構想の実現に向けて継続して取り組みます。

*地球市民とは=地球的視野に立って考え、行動する人。地球環境や平和などの課題を自らの現実の問題として捉え、自分の選択が影響を与えるという意識と責任感を持って行動する市民。

Report

西日本地区リーダー研修会

開催日/2010年5月3日(月)~5日(水)
開催場所/国立諫早青少年自然の家

YMCAのプログラムに関わるリーダーが自主的に開催し、資質を高め、他県のリーダーと交流を深めることを目的に、第15回西日本地区YMCAリーダー研修会が行われ、熊本・福岡・北九州・長崎・広島・松山のリーダー62名が参加しました。

今回のテーマは「結ぶ笑顔でつなぐ僕らのKIZUNA」。それぞれの考え方を共有しながら、共に学び、楽しむことで、一つの大きな絆がこの研修会を通じて結ばれました。

ながみねファミリーYMCAユースボランティアリーダー代表 渡辺 章太郎(だちようリーダー)



母の日に感謝を込めてパン作り

開催日/2010年5月9日(日)
開催場所/みなみYMCA

みなみYMCAで、母の日に合わせ特別プログラムが行われました。お母さんにジムやプールでリフレッシュしてもらっている間に、子どもたちにはお母さんへのプレゼントとしてパン作りに挑戦してもらおうというもの。「いつもありがとう」と書かれたカードと一緒に、焼き上がったパンが手渡され、心のこもった贈り物に涙するお母さんもありました。

